


授業紹介 〈絵・彫・・工・映・他〉

## 『顔を題材としたイラストレーション』

高知学芸高等学校

平田 慎一

### 学校紹介・特色

本校は、高知大学に附属高等学校を置こうとする運動に端を発して設立された経緯を持つ。「国立」実現が困難となり「私立」へと方向を転じ、昭和32年2月12日に、学校法人高知学芸高等学校の設立が認可された。創立時より生徒自らが作り出した生活上の三原則「皆勤の励行・服装、容儀の端正・環境の美化清掃」は現在でも在校生の中で校風として培われている。高知市西部に位置し、校内には樹木が多く自然豊かな環境である。平成19年には創立50周年を迎えた。全日制・普通科で各学年7クラスの習熟度別クラス編成であり、生徒の大半が大学進学を希望し、進学している。

芸術科目は1年次で、音楽、美術、書道から全クラス「芸術Ⅰ（2単位）」の選択必修となっており、2年生からは文系クラスのみ選択可能で「芸術Ⅱ（2単位）」、「芸術Ⅲ（3単位）」と3年生まで継続して履修することができる。

少数ではあるが、美術系大学への進学も継続している。

対象学年：高校1年生 人数約30～35名 （1講座）

所要時間 10時間

### コンセプト

イラストレーションは本来デザイン分野において、本の挿絵や文章内容の説明の補足の役割をもつ。しかし、最近では用途のみでなく、イラストレーターの作品として目にすることも多い。画家の個性が作品に反映されるように、イラストレーターの作品もそれぞれの作風の違いがある。人物を題材として描くとき、絵画表現よりイラストレーションとして制作することに生徒達は馴染みやすい。生徒にとっても「イラスト」という言葉が一般化しており、気軽に制作に取り組む傾向が見られる。「顔」をイラストレーションのテーマと設定したのは、絵画表現の苦手な生徒でも制作しやすいためである。題材探しも積極的に取り組むことができ、アイデアの発想も広がりやすい。探してきた題材を工夫して、様々な表現技法を学びながら、オリジナリティーあふれる作品制作を体験させたい。

### 準備するもの

#### B4イラストボード

アクリルカラー、水彩絵の具、パステル、色鉛筆、ペン、鉛筆、マーカー、マスキングフィルム、マスキングテープ、ペーパーパレット、のり、はさみ、カッターナイフ、カッティングマット、

- 手順 1. 題材探し (顔であれば、動物や彫像なども可とする。ただし、すでに確立されているイラストレーションやアニメーション、キャラクターは不可とする)
2. 資料をもとに B4 サイズのコピーを作成
3. アイディアスケッチ (構図や表現技法、着彩素材の計画)
4. 資料のトレース
5. イラストボードへの転写                   A・直接  
  B・下地効果の作成の後
6. 表現技法の理解 (コラージュ、スパッターリング、ドリッピング、マスキング処理)
7. 着彩

生徒作品       (素材)



(アクリルカラー)



(鉛筆)



(マーカー)



(ペン)



(水彩)

まとめ

作品完成後は教壇に作品を並べ、お互いの作品を鑑賞する。作者の制作意図や狙いを発表し、それぞれの作品について理解を深める。また、作品をロビーにも掲示して、美術選択生徒以外にも鑑賞してもらう機会を作る。後日、何点かは校報誌にも掲載して記録に残している。